

まつかわ

□□□ 第5号 □□□

2学期スタート

【2学期始業式 校長講話より】

まず初めに今週でお休みに入る先生の紹介をします。佐々木由希野先生です。

皆さんもすでに知っているかと思いますが、佐々木先生のお腹の中には赤ちゃんがいます。予定日は10月23日。そのため今週いっぱいでお休みに入ります。毎日調理員の先生と協力し、美味しい給食を提供していただきました。また、家庭科の授業などでも、健康教育という観点から大切なことを教えていただきました。佐々木先生、元気な赤ちゃんを産んでください。松川中学校のみんなで応援しています。ありがとうございました。

続けて、2学期より来ていただく先生を紹介いたします。増澤稔先生です。

増澤先生は、一昨年度まで町の教育委員会にお勤めされ、町の間接教委室でお世話になるなど、松川中を支えていただいております。新型コロナに関わる学校支援事業の関係で、2学期から本年度いっぱいお勤めいただくことになりました。8組B、8組Cの理科を担当していただきます。よろしくをお願いします。

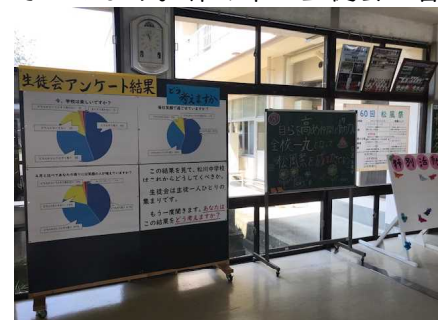
さて、13日間という短い夏休みが終わりました、8月7日の終業式では、しっかり充電する夏休みにしてくださいというお話をしました。どうだったでしょうか。フル充電できたでしょうか。今日、皆さんの元気な姿、元気な笑顔と再会できて、本当にうれしく思います。

夏休み中も、毎日のニュース番組で新型コロナの状況が報道されていきました。感染者数の増大に伴って現在第2波が到来しているということも言われています。長野県でも上田、北アルプス圏域で警戒レベル3の警戒が発令されています。今のところ私たちの住む下伊那も含め県内の他の地域では警戒レベルは2の注意報が発令されている状況です。これは感染リスクを認識し、より慎重に行動することが求められている段階です。

そんな中での2学期のスタートです。手指消毒、マスクの着用、3密の回避を継続しながら、感染対策をとっていくとともに、規制がかかる中でも、できないことを嘆くのではなく、今できることは何かを考えながら目標を持って、それに向かう努力を積み重ねていきましょう。休み中に生徒会の皆さんが登校し、昇降口に新たな掲示物も貼り出されています。このような状況の中でも、着実に松風祭の準備に取り組んでいる姿に頼もしさを感じます。そこには確かに諦めない心があります。

また、現実問題として、今後身近なところで新型コロナに感染するケースが現れることも考えられます。その時、自分はどう行動すべきか、どうその事実に向き合うべきか。いまだに感染者に対する誹謗中傷が後を絶ちません。匿名によるSNSを使った書き込みや、陰口……。誰もが感染する可能性のある病気であるということを認識し、感染しても安心して治療に専念できる状況を私たちの身の回りではしっかりとつくっていきたいと思います。まさに自ら考え、良識をもって判断し、正しく行動できる松中生の姿が、今求められているのです。

2学期85日間は1学期に引き続き歴史的な試練に立ち向かっていく85日間。一人一人がどうその試練に立ち向かうのか、私も含めて松川中学校の生徒、職員全員で立ち向かっていきましょう。一人では乗り越えられなくても、仲間がいればきっと乗り越えられると信じています。



お知らせとお願い

○栄養教諭の佐々木 由希野先生は8月28日(金)から出産・育児のため、お休みに入ります。
後任は片桐 美咲先生です。8月28日からお勤めいただきます。よろしくお願いいたします。

○新型コロナウイルス感染症拡大防止と熱中症対策、引き続きよろしくお願いいたします。
熱中症予防のため、今週いっぱい(～8/28まで)ジャージ登校を可としました。登下校中も水分補給や周りの人と距離がとれる場合はマスクを外すなど、熱中症予防を一人一人が心がけてください。



○8月の給食費については、8月上旬の給食の提供に加え、今後も行事の変更が見込まれるため、長期欠食生徒のみ、給食費の調整をしました。その他の生徒については、1月の集金にて最終調整します。

○10月1日(木)に予定されていた「学校保健委員会」は中止となりました。

○消毒について

「消毒は、感染源であるウイルスを死滅させ、減少させる効果はあるが、学校生活の中で消毒によりウイルスを全て死滅させることは困難。このため、一時的な消毒の効果を期待するよりも、**清掃により清潔な空間を保ち、健康的な生活により児童生徒等の免疫力を高め、手洗いを徹底することの方が重要**と考え、通常の清掃活動の中にポイントを絞って消毒の効果を取り入れる。具体的な消毒方法として、床は通常の清掃活動の範囲で対応。机・イスの特別な消毒は不要。必要に応じて家庭用洗剤等を用いて拭き掃除。大勢がよく手を触れる場所(ドアノブ、手すり、スイッチなど)は一日一回、消毒を行う。(家庭用洗剤等を用いた拭き掃除で代替可能)よって、特別な消毒作業は基本的には不要。外部人材を活用し、過度な消毒とならないように配慮する。」(8/6付けの文科省からの通知の概要)

この指示をふまえ、2学期から校内の消毒は基本的にスクールサポートスタッフの冨永先生にお願いすることにします。具体的には、大勢がよく手を触れる共用部分(ドアノブ、手すり、スイッチ、蛇口のつまみやレバーなど)のみ毎日消毒をしていただきます。ただ、保護者会やPTAの会合などで不特定多数が校舎内を使用した場合には、使用した方たちで使用後に消毒をしてもらいます。

なお、校舎入り口などに置いてある手指消毒用のアルコールは引き続き設置しておきますので、使用してください。また、各学級で行ってきた給食配膳前のアルコール除菌シートを使った台拭き、給食当番の給食室前でのアルコール消毒は今後も続けていきます。ただ、日常の予防には手洗いを徹底することが大切ですので、毎日、清潔なハンカチの持参をお願いします。



○スクールカウンセリングについて

長野県教育委員会の事業として、スクールカウンセラーの小笠原先生が来校されています。学習や友人関係にかかわる様々な悩みやストレス、不登校などを抱える生徒や保護者の皆様の相談に応じています。個人的な秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。原則として毎週水曜日の午後に来校されていますので、懇談希望のある方は本校職員にお知らせください。